

公平なる市民諸君!! 希はくば吾等の味方たれ!!

大正九年十二月二十七日

三越吳服店洋服部罷工團  
友愛會東京聯合會

罷工團が一度柳橋氏に倚るや、策戦は、正攻的戦法と化したり、先づ示威運動の計畫は立てられぬ此計畫は、麻生、柳橋兩氏に依りて編まれ、二十九日、三十一日、一月四日の三回連続的に之を行ひ門外に集合し、騒擾せんとするものなりしが、忽ち三越内部に於て之を行はんとするに一變したり、之三越内部に何等守りなきためにして策戦者も亦我乍らの妙案となせり、忽ち第二第三回の宣傳ビラは三越内部及街路に撒布されぬ。

諸君に訴ふ (原文のまま)

見よ 華美壯麗なるビルディングに陳列せられたる品物を、それは悉く労働者の血と肉とに依て織りなされたものである。

見よ 表に阿諛追従人心の虚榮を煽動し、裏に生活の不安に戦く職工の輕微なる要求を却け、慘忍暴戻にも誠首を擬して職工の生活を奪はんとする三越重役の態度を、

見よ 我等は生きんとする最後の努力に勇を鼓し、彼等と戦はんとするものである。我等洋服部技工百二十餘名は三越重役の暴虐に殃ひせられ、去る二十四日より罷工状態に陥り生活の道を斷られたるものである。是非孰れにあるか。我等は何處迄も我等の正義を信ずるものである。

大正九年十二月二十七日

三越吳服店洋服部罷工團

横暴なる資本家の巨頭三越重役は洋服部技工百二十名の切端つまつた要求を斥け此年末かけて無情にも全部を誠首した三井が各地の鑛山工場で労働者を慘害した怨を全國労働者は忘る、事は出来ぬ

## 労働者大示威運動

日時 十二月二十九日午後一時

集合所 三越吳服店前

友愛會東京聯合會

労働者は集まれば